

～空き家の発生を抑制し、流動化を促進するための対策～
地域人材を活用する「空き家調査員」養成事業

株式会社 三友システムアプレイザル(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：堂免拓也)は、地域人材を活用する「空き家調査員」養成事業の全国展開を、新年度(平成31年4月)より開始します。

【事業の目的】

株式会社三友システムアプレイザルは、金融機関向けの不動産担保評価を中心に全国の不動産評価・不動産調査・機械設備等の動産評価を展開する、取扱い件数では国内最大の不動産評価会社です。

今回開始する事業では、地域人材の活用により、地域の担い手による地域の空き家相談の仕組みを支え、**これ以上の空き家・空き地を発生させない取り組み**を目指します。地域における取り組みが質の高い「空き家情報」となり、空き家所有者の意思決定を促し、既に存在する空き家バンクの活性化や空き家対策の施策に寄与します。特に既存の空き家バンクの仕組みがカバーできていない、地域の不動産仲介会社が敬遠する空き家に対応します。

【養成事業が解決する問題】

地方や大都市郊外に放置されている空き家は、価格が低廉であることや、安全上・行政上の制約が理由で、地域の不動産会社から「低廉な空き家」「敬遠したい空き家」として取引の対象にされてきませんでした。地域を離れた空き家所有者にとっても、急いで解決する問題ではないとされ、相談相手も居ないため、結果として「**問題先送り空き家**」が増加し、地域の荒廃化が進んでいます。

本事業では空き家調査員による実地調査報告を受けて、地域の不動産会社・大学研究機関・自治体・建築や税務の専門家などの協力により、空き家に対する経済合理性を加味した「**空き家トリアージ**」を行います。これらは空き家相談業務に役立つだけでなく、空き家の流動化を促進し、空き家を承継する側とされる側、利活用する側とされる側、双方にとって有益な情報となるでしょう。

【業務実行体制】

平成30年度、国土交通省住宅局 補助事業「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」として、埼玉県毛呂山町にて養成事業を行いました。養成対象は毛呂山町の公募で集まった地元NPOほか、2団体13名です。半年間の養成講習(理論・実地)を経て、5物件の空き家実地調査報告を行い、トリアージ検討を行ったうえで、平成31年2月には、毛呂山町にて事業成果報告会を実施しました。

【三友システムアプレイザル 会社概要】

商号 : 株式会社 三友システムアプレイザル
代表者 : 代表取締役社長 堂免拓也
所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町1丁目2番10号 平河町第一生命ビル4F
設立 : 1980年5月
資本金 : 100百万円
事業内容 : 不動産鑑定評価・不動産調査・動産評価・建物状況調査
国内提携先 : 不動産鑑定士370名 不動産調査員250名(平成30年)
年間取扱件数 : 21,597件(海外65件) ※

※平成30年、不動産の鑑定評価に関する法律第28条の規定による「事業実績等報告書」に基づく

URL : <http://www.sanyu-appraisal.co.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社三友システムアプレイザル 営業開発部

担当：田井政晴(木村和義・木村慶輔)

Tel : 03-5213-9792

E-Mail : inquiry@sanyu-appraisal.co.jp